

④. 条件④: 駅付近の利便性が高い場所に駐車場用地の確保が可能

パーク&ライドの利用可能性が高い条件①～③のすべてを満たす駅のうち、「名護」は駅周辺に空地と見込まれる用地がある一方、「うるま具志川」、「コザ十字路」は既成市街地であり、駅付近に駐車場用地を確保するのが困難となることも考えられる。

その場合、那覇方面に隣接し、将来的な基地返還により大規模な用地の創出が見込まれる「普天間飛行場」駅を代替駅とすることが考えられる。もちろん、普天間飛行場の跡地利用については、今後、沖縄県及び宜野湾市において県民、地権者等の意見聴取や関係機関との調整等を行った上で策定される跡地利用計画にもとづき、具体化が図られるものであることに留意しなければならない。

なお、「普天間飛行場」は、条件①（那覇中心部に対して自動車直行よりパーク&ライドの所要時間が短い）を満たさないが、パーク&ライドの所要時間が自動車直行より長い場合でも5～20分程度であれば利用可能性はあるとされている（次頁参照）ことから対象と考える。

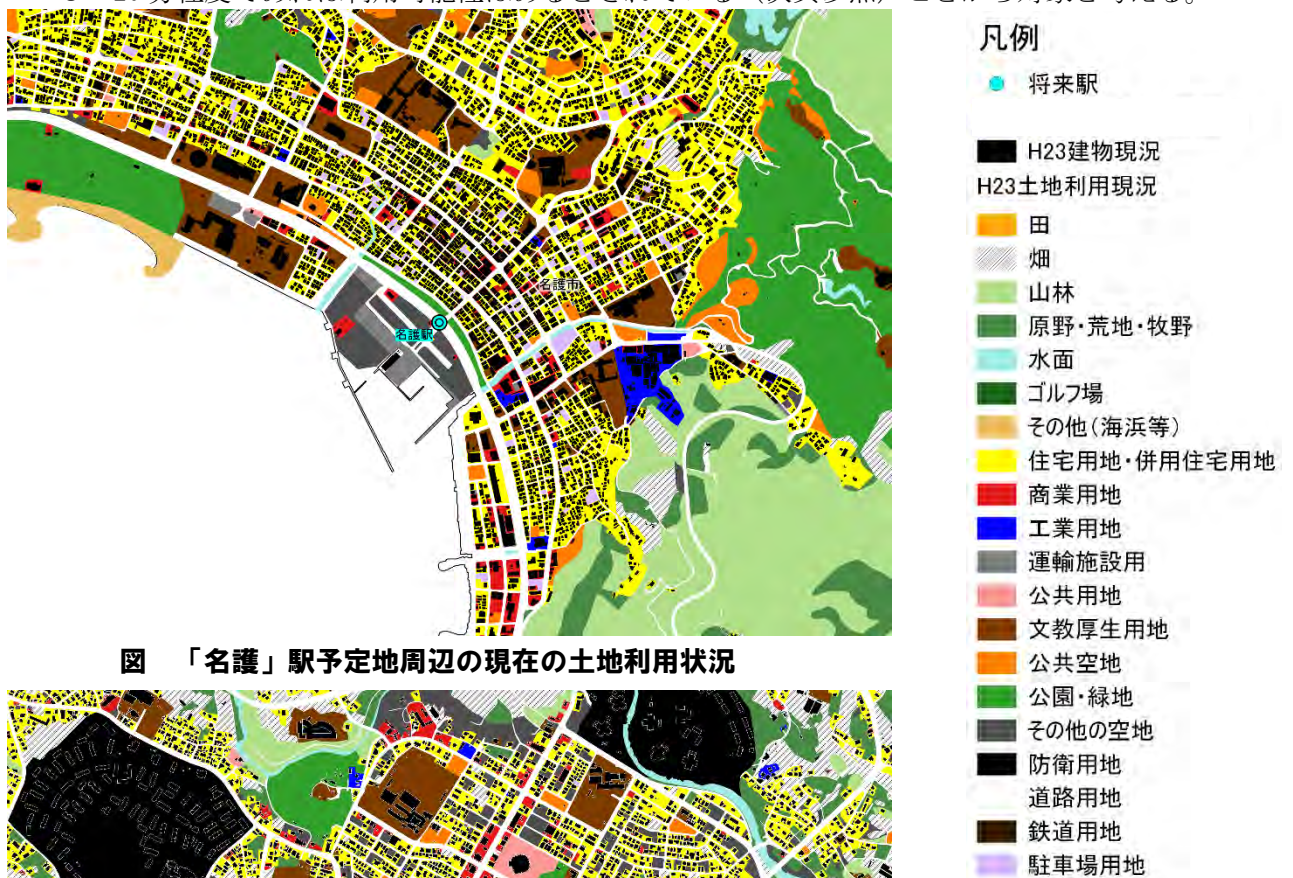


図 「名護」駅予定地周辺の現在の土地利用状況

図 「うるま具志川」駅予定地周辺の現在の土地利用状況



凡例

- 将来駅から1km圏域
- H23建物現況
- H23土地利用現況
- 田
- 畑
- 山林
- 原野・荒地・牧野
- 水面
- ゴルフ場
- その他(海浜等)
- 住宅用地・併用住宅用地
- 商業用地
- 工業用地
- 運輸施設用
- 公共用地
- 文教厚生用地
- 公共空地
- 公園・緑地
- その他の空地
- 防衛用地
- 道路用地
- 鉄道用地
- 駐車場用地

図 「コザ十字路」駅予定地周辺の現在の土地利用状況

出典：沖縄県都市計画基礎調査をもとに作成

3) パーク&ライドが有効と見込まれる駅の抽出結果

以上を踏まえ、パーク&ライドが有効と見込まれる駅として、「名護」及び「普天間飛行場」を抽出した。両駅を対象に次回委員会においてケーススタディを行い、効果と課題を整理する。

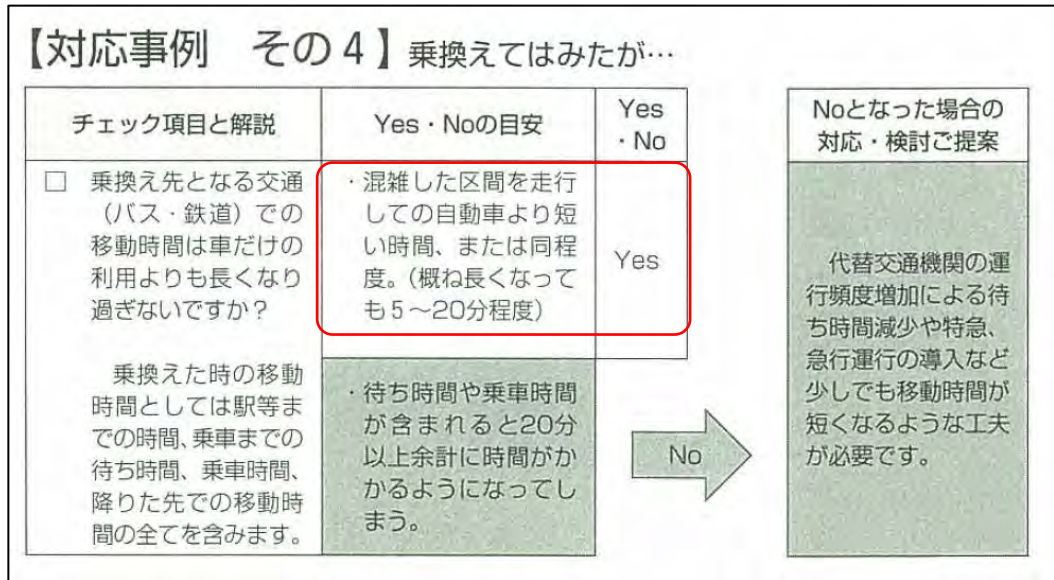


図 乗換え先の交通（バス・鉄道）と車のみの移動時間に対するパーク&ライドの適用条件

出典：「渋滞緩和の知恵袋シリーズ マーケティングの視点から考える 成功する失敗するパークアンドライド」